

令和3年度廃棄物適正処理対策推進事業

廃棄物不法投棄防止合同パトロール

令和3年6月4日に不法投棄の撲滅を目的に、「令和3年度廃棄物適正処理対策推進事業」の一環として廃棄物不法投棄防止合同パトロールを実施しました。

松江市では本年度、美保関町千酌地区林道馬見谷線を不法投棄監視重点地区に指定し、当日千酌自治会館前において出発式を行った後、千酌地区の不法投棄監視モニター2名と、島根県警、(一社)しまね産業資源循環協会、松江市の総勢10名で不法投棄重点監視地域(林道馬見谷線)を陸上パトロールし、不法投棄された廃棄物の現地確認を行いました。

【現地確認】



【現地確認】



現地の林道脇には、冷蔵庫やテレビ、バッテリー、プラスチックごみなどが投棄されており、約6.0㎡の不法投棄物が確認されました。



陸上パトロールで確認された不法投棄物については、11月に(一社)しまね産業資源循環協会において撤去作業を予定しており、その後、地元の皆様と監視カメラや看板の設置、監視パトロールの実施などについて協議を行う予定です。

不法投棄は犯罪です。不法投棄は、まちの美観を損ねるだけでなく自然環境や生活環境に悪影響を及ぼします。

みんなで不法投棄のないきれいなまちを実現しましょう。